

# 第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 26年 1月

応募者名: 札幌市建設局土木部

事業の名称: JR白石駅周辺地区整備事業

実施都市名: 札幌市

## 事業目的

白石駅は北口および北口広場が未整備な上に、南口駅前広場は狭隘でバス・タクシーの乗継ぎの利便性が十分に確保されていない状況であった。更に、北口方面から白石駅を利用するためには狭隘な人道橋を渡る必要があり、バリアフリー上および鉄道による南北市街地分断の問題があった。

本事業では交通結節点の機能改善を図ることを目的とし、南北駅前広場・連絡歩道・白石駅北通の整備を実施した。

## 事業概要

事業名称: JR白石駅周辺地区整備事業

路線名: 3・4・605号 白石駅北通

3・4・46号 白石・中の島通

8・6・36号 白石駅前広場連絡歩道

事業箇所: JR白石駅周辺

事業延長: 白石駅北通=320m 連絡歩道=60m

北口広場=5,100m<sup>2</sup> 南口広場=4,600m<sup>2</sup>

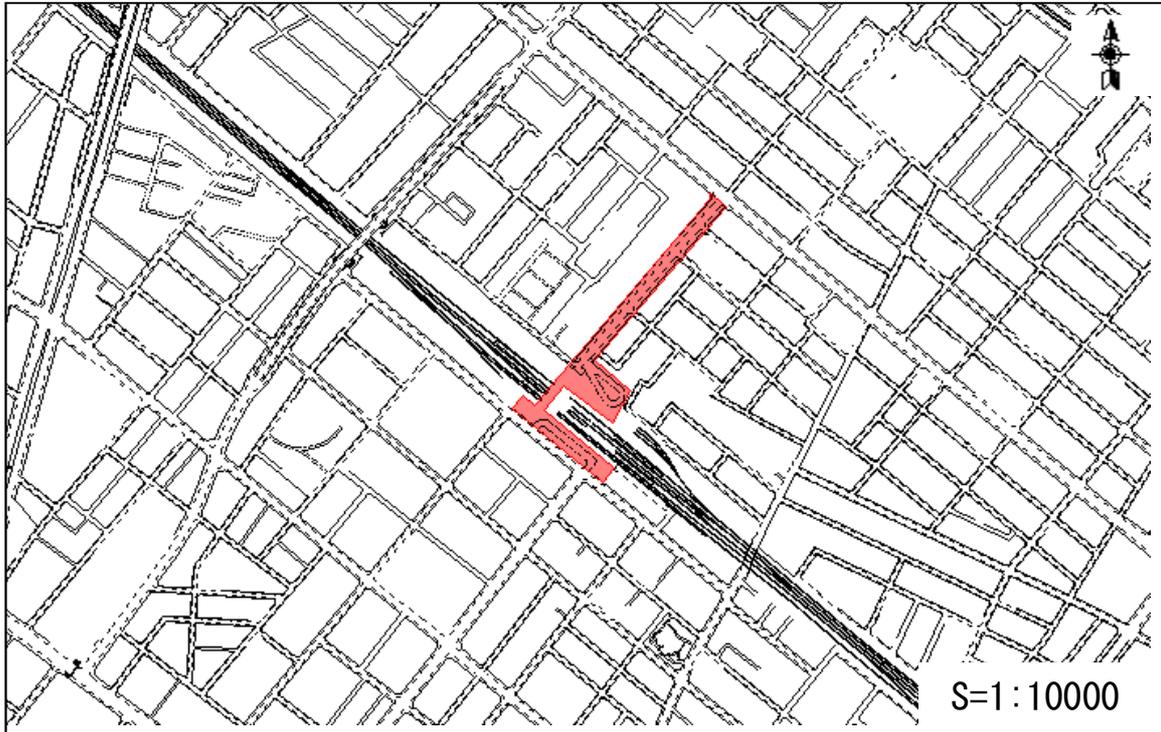
幅員: 白石駅北通=21m 連絡歩道=13m

事業費: 約50億円

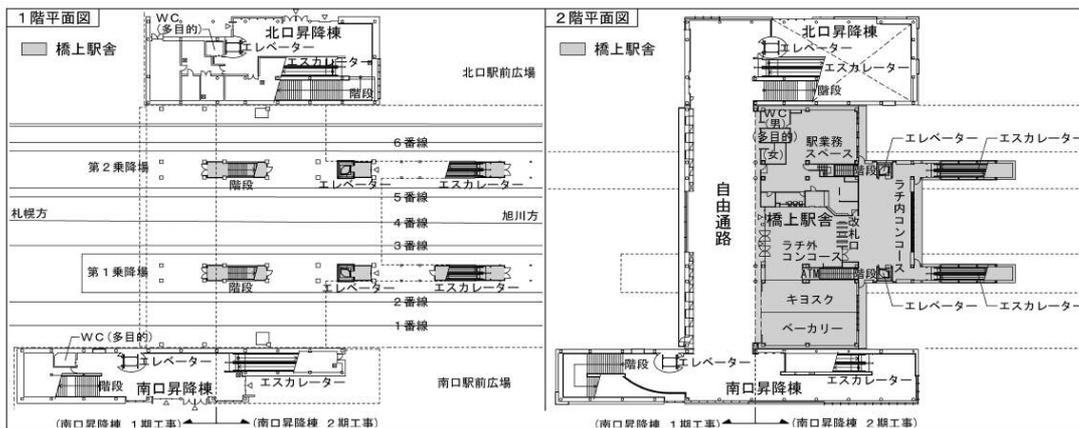
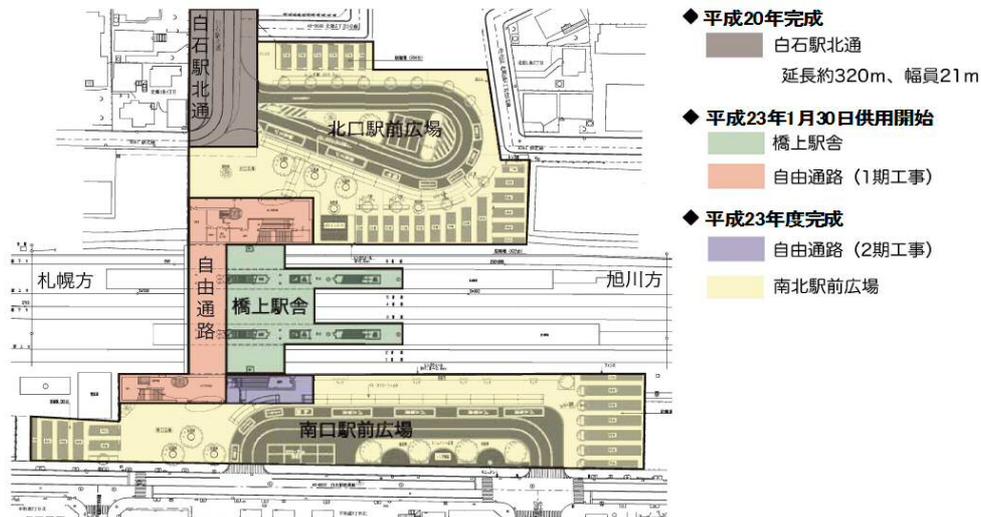
事業実施期間: 平成16年度～平成24年度

本事業は、南口駅前広場の拡張・北口駅前広場の新設・北口駅前広場への連絡道路の新設・南北広場を結ぶ連絡歩道の整備を実施した。これにより駅の利便性・交通結節点としての機能向上、緊急対策踏切の安全性向上、出会いと交流の場の創出といった効果が得られた。

# 事業位置図



## 全体図(平面図・側面図・横断面図)



# JR白石駅周辺地区整備事業の整備効果アピール資料

## ○事業概要

事業名: JR白石駅周辺地区整備事業

路線名: 3・4・605号白石駅北通、3・4・46号白石・中の島通、8・6・36号白石駅前広場連絡歩道

事業箇所: JR白石駅周辺

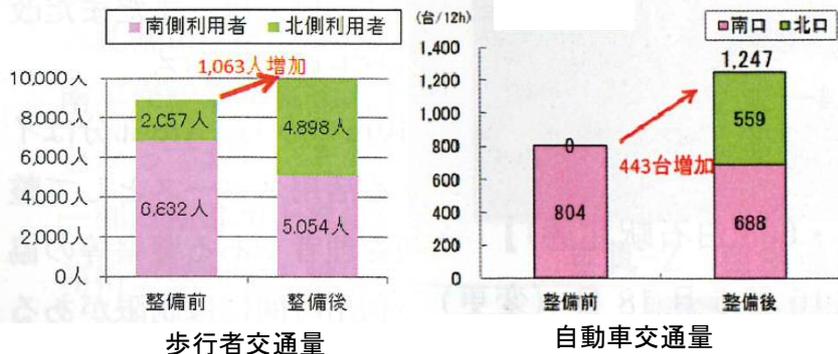
事業延長: 白石駅北通=320m、連絡歩道=60m、北口広場=5,100㎡、南口広場=4,600㎡

幅員: 白石駅北通=21m、連絡歩道=13m

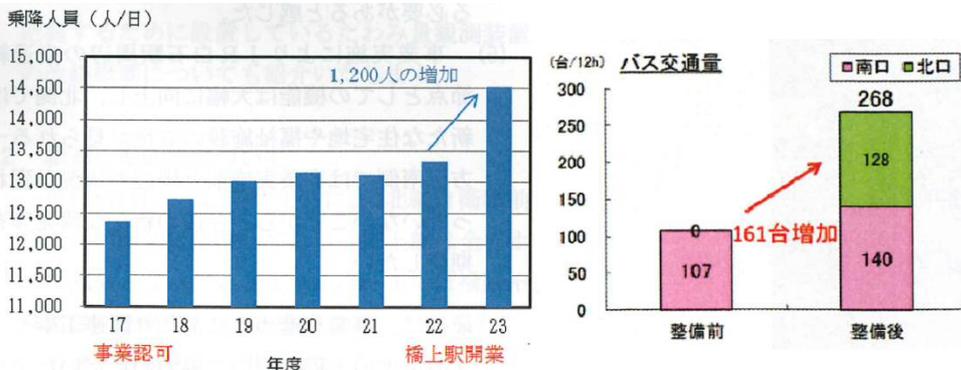
総事業費: 約50億円

事業期間: 平成16年度～平成24年度

## ○交通量調査結果



## ○整備効果: 駅乗降人員とバス交通量

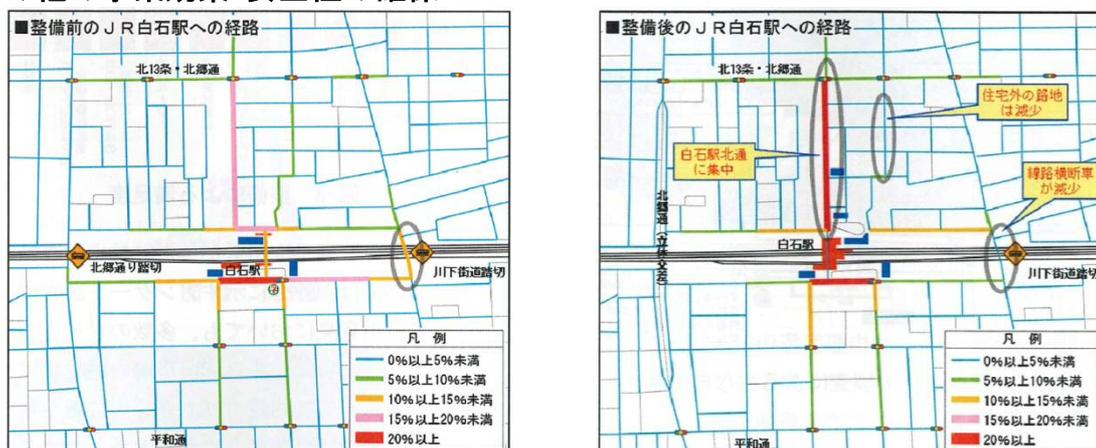


鉄道乗降人員は年平均1,200の増加

バス便数は南北合わせて161台増加

⇒交通結節点としての機能向上

## ○その他の事業効果: 安全性の確保



緊急対策踏切の利用者の減少に繋がり、安全性が向上した。

# 事業前写真



平成16年11月撮影



平成17年1月撮影



平成16年10月撮影



平成16年11月撮影



平成17年1月撮影



平成16年10月撮影

# 事業後写真



平成24年5月撮影



平成24年5月撮影



平成23年1月撮影



平成23年3月撮影



平成23年3月撮影



平成20年12月撮影